

第 329 回 三田市議会定例会

平成 26 年 11 月 28 日

市長提案説明

---

**【はじめに】**

おはようございます。

朝夕の冷え込みも日増しに強まり、寒い冬の訪れを間近に感じる本日ここに、第 329 回定例会市議会を開催いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては、ご健勝にてご出席を賜り厚くお礼を申し上げますとともに、日頃のご精励に対し深く敬意を表する次第であります。

さて、第二次安倍政権誕生から 2 年— 我が国の最大の懸案でありました経済は拡大基調に推移し、また雇用も好転するなど一定の成果を見ているところでありますが、一方では地域間・業種間格差や 4 月からの消費税引上げによる個人消費の落ち込みなどの影響から、7 月から 9 月期の国民総生産いわゆる GDP 速報値が予想を大幅に下回る結果となりました。

こうした状況の中で、安倍総理は、来年 10 月の消費税 10% への引き上げを 18 ヶ月延期することを表明した上で、アベノミクスの継続などを争点として衆議院を解散し、来月 2 日公示、14 日投開票とした衆議院議員総選挙が行われることとなりました。既に各党の選挙公約も発表されるなかで、国民が果たしてどのような判断を下すのか、その結果が注目されるところでありますが、経済の再生や財政再建をはじめ、原発の再稼働、沖縄基地問題、集団的自衛権など重要な課題が山積する我が国の前途は、決して容易なものではないと判断しなければなりません。本市といたしましても、今後の政治・経済の動向が市の行財政や市民生活にどのような影響を及ぼすのか、しっかりと見極めながら、今後の市政運営に誤りなきよう万全を期してまいりたいと考えております。

とりわけ、現在、新年度予算の編成作業を進めておりますが、当面する国の補正予算や新年度予算、また地方創生、税制改正の動き、更には消費税の引き上げが先送りされたことに伴う社会保障制度の見直しなどの的確に把握し、健全財政を基本とした私の第二期市政

の総仕上げとなる予算を編成してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。

### 【新庁舎の竣工】

それでは、議案の説明に先立ち、若干のご報告を申し上げます。

まず、新庁舎の整備についてであります。新庁舎建設検討委員会をはじめ工事関係者の皆様のご努力をいただく中で、新庁舎の建設が予定どおり順調に進捗し、来月 15 日に竣工式典と併せて市民の内覧会を実施することといたしております。ここに改めて、議員の皆様並びに市民の皆様のご理解とご協力に対し厚くお礼を申し上げます。

新庁舎は、行政サービスの拠点として来庁者の利便性や防災拠点としての安全性を確保するとともに、自然エネルギーの活用などにも配慮して建設をいたしました。

来年 1 月中旬より新庁舎での業務を順次開始してまいりますので、新庁舎に相応しい質の高い市民サービスが提供できるよう、現在、職員あげて研修を行い、より一層市民に信頼される職員、市役所を目指してまいりたいと考えております。また、昼休みの開庁につきましても、平成 27 年 4 月からスタートできるよう準備を進めているところであります。

今後、旧庁舎の解体や分庁舎（西、西 2 号）の改修、駐車場、広場、外構など市役所全体の整備を平成 28 年度中に完成する予定として、引き続き工事を進めてまいります。

なお、これら事業費につきましては、庁舎整備基金の範囲内で対応することといたしておりますので、ご理解賜りたいと存じます。

### 【特別支援学校の開校】

次に、市内 29 番目の学校として平成 27 年 4 月に開校する特別支援学校についてであります。既に 9 月市議会におきまして、関連条例改正の承認をいただき「三田市立ひまわり特別支援学校」と校名を決定しておりますが、今月 5 日には、正式に兵庫県教育委員会から特別支援学校設置認可をいただいたところです。

当ひまわり特別支援学校は、市内在住の肢体不自由の児童生徒を対象として、小学部を富士小学校に、中学部と高等部を富士中学校に併設することとしており、これまで本市が進めてきた共生の理念に基づいた教育を展開するとともに、個々に応じた専門的な指導や安全で安心な体制を確保してまいりたいと考えております。

また、併せて地域の小・中学校の特別支援学級におきましても、施設設備や人的支援の充実に努めてまいります。

## 【子ども・子育て支援事業計画の策定】

最後に、子ども・子育て支援事業計画の策定への取り組みであります。

「子ども・子育て関連3法」の成立に伴い、子ども・子育て支援事業計画の策定が義務づけられ、本市におきましても「子ども審議会」を開催し幼児期の学校教育や保育、子育て支援についてご審議いただいているところです。

当審議会からの答申に基づき、既に9月市議会において議決いただきました「保育施設などの設備及び運営に関する基準を定める条例」に引き続いて、現在「教育・保育の量の見込み及び確保方策」やこれまで取り組んできた「次世代育成支援対策」を含めた「子ども・子育て支援事業計画素案」についてご審議をいただいているところであります。2月上旬に最終答申をいただき「子ども・子育て支援事業計画（案）」を策定し、新年度からスタートさせてまいりたいと考えております。

## 【提案議案について】

それでは、今期定例会に提案いたしました議案につきまして、ご説明を申し上げます。

## 【予算案件】

まず、平成26年度補正予算であります。一般会計補正予算では2億1,766万円の増額補正をしようとするものであります。

その主な内容であります。9月1日にリニューアルしました三田市のふるさと納税制度による寄附も予想を大幅に上回るが見込まれるため、市の特産品等の進呈経費などのふるさと納税推進事業3,740万円及び、寄附金の「ありがとう！三田っ子応援基金」への積立金1億860万円の増額をはじめ、27年4月から消費生活センターの設置に伴う、まちづくり協働センター6階の施設整備費220万円、障害者の就労移行支援給付費3,100万円、児童発達支援給付費1,200万円、就学障害児の放課後等デイサービス事業で1,000万円の増額など施策的事業で2億791万円のほか、介護保険事業特別会計への支出金975万円であります。

また、債務負担行為では、住民異動情報処理業務委託費の限度額の増額変更、職員福利厚生事業及び、三田市青野ダム記念館、聖苑、野外活動センター並びに有馬富士自然学習センターの指定管理費の追加補正であります。

次に特別会計では、介護保険事業特別会計で、27年度からの介護保険制度改正に伴う電

算システムの改修費 1,134 万円の増額補正であります。企業会計では、下水道事業会計で、高次排水区浸水対策事業 2,300 万円の債務負担行為の追加補正であります。

### 【条例案件】

次に、条例案件であります。避難行動要支援者に対する避難支援等を実施するための基礎となる名簿の作成及び避難支援等関係者への提供に関し必要な事項を定める「三田市避難行動要支援者名簿に関する条例」、子ども・子育て支援法の制定に伴い、市立幼稚園と市立保育所がそれぞれ支給認定保護者から受領する利用者負担額について定めるに当たり改正する「三田市立幼稚園条例」と「三田市立保育所条例」の一部改正のほか、消費生活プラザを消費生活センターと改めるとともに、その機能の拡充を図るため「三田市まちづくり協働センター条例」の一部改正など計 12 件であります。

### 【事件決議】

次に、事件決議であります。西庁舎及び西 2 号庁舎他改修工事（建築）請負契約の締結や三田市野外活動センターほか 3 施設の指定管理者の指定のほか、市道路線の認定など計 8 件であります。

### 【専決処分事項の報告】

最後に、専決処分事項の報告及びこれの承認を求める件であります。三輪財産区議会議員の欠員による補欠選挙費 370 万円、及び 8 月の台風 11 号、10 月の台風 19 号に伴う大雨により被災した農地、農業用施設の災害復旧事業費 8,552 万円、並びに 11 月 21 日の衆議院の解散に伴う、衆議院議員選挙費 3,540 万円の 3 件の一般会計補正予算であります。

なお、本日この後、人事院勧告に準拠して職員の給与改定に係る条例案件を追加提案させていただくほか、今会期中に人件費に係る所要の補正予算、教育委員会委員の人事案件を追加提案いたしたく考えておりますので、ご了承を賜りたくお願い申し上げます。

以上をもちまして、提出議案の説明を終わります。

議員の皆様におかれましては、何とぞ慎重にご審議をいただき、適切なるご議決を賜りますようお願い申し上げます。提案の説明といたします。ありがとうございました。